

清き銀河に

のびやかな心、しなやかな知性で未来へつなぐ

松本蟻ヶ崎高3学年進路通信

この通信は必ず保護者の方にも見せて下さい

先週木曜日より学校再開となりました。臨時休校に関しまして、保護者の皆様、生徒のみなさんのご理解とご協力に感謝申し上げます。また久しぶりの登校に際してさまざまな思いや、不安がある人もいることでしょう。無理をせずペースを作っていくってほしいと思います。

さてこの間、多くの授業がオンラインで行われました。皆さんの柔軟な対応、ありがたく思います。今後も感染症に関してはまだまだ不安定な状況が続くものと考えます。いざという時のために、今回のオンライン授業を少し振り返っておきましょう。

◎原則として通常的时间割に合わせた学習を進めましょう。いつも通り起きて SHR の時間に自分の授業の classroom からの連絡に目を通します。

◎様々な形での授業配信となっています。自習課題が出ている場合は時間割どおり進めます。meet での授業は 1～2分前には入室しておきましょう。今回もスマホの画面で視聴した人が大部分でしたが、もしおうちにパソコンやタブレット等がある人は、ぜひ使わせてもらってください。見やすさが格段違ってきます。

◎オンライン授業は対面での授業に比べてどうしても一方通行になりがちですが、それだけにいつも以上に予習をしっかりとって臨むことも大切になります。授業後に meet などで質問してもらうこともできます。復習にも時間をかけて理解を深めてください。部活や通学時間がない分、普段忙しくて後回しにしていた課題や受験勉強にじっくり取り組んでほしいと思います。

◎イレギュラーな事態になっても、その日のやるべきことが明確になっていけば、ペースをキープしつつ着実に学習を進めていくことができるはずです。あらためて1週間、1か月、3か月、といった学習目標を立てておくことが大切です。受験生、応援しています！

引き続き体調チェック、感染予防を！

健康管理チェックシート、5月よりフォームが一部変更となりましたので再配布してあります。毎日のチェック及び記入を継続しましょう。体調の悪い

ときは無理せず登校を控えることも大切です。欠席の場合は必ず保護者の方から学校へ連絡を入れていただくようにお願いします。

学校生活でも手洗い、消毒を習慣にすること。また昼食時は向かい合わず、食事が済んでからマスクをして会話、としてください。換気のため教室や廊下の窓は空いていますので、気温に合わせて上着などで調整してください。何よりも、お互いを思いやる気持ちが一番大切です。

今後の予定

May

- 15(土)-16(日) 中信総体
- 17(月) 振替休日
- 19(水)- 21(金) ◎通常授業(水・木・金)
- 26(水) AM特曜日
- 30(日) 英語検定1次(本校にて実施)
- 31(月) AM特曜日

June

- 3(木) 防災訓練(LHR)
- 4(金) ①②③PM 芸術鑑賞(芸術館)
- 8(火) キャリアサプリー→中止
- ◎一斉復習テスト(国・数・英) PM 探究の時間
- *考査 I を補う形でテストを行います。
- 9(水) AM 特曜日
- 12(土) ベネッセ共通テスト模試
- 15(火) PM 特曜日
- 17(木) クラスマッチ

進路通信「大学入試スケジュール版」

「清き銀河に No.5」を3学年のClassroomより配信しました(5/6号)。今回は国公立大学編。志望校の決定から受験方式の研究、共通テストへの出願、共通テスト受験、出願校最終決定及び出願、個別試験(前期・中期・後期)、そして合格発表といった一連の流れがわかるようになっています。

スケジュールを見ると、あっという間に本番が来

てしまうことにあらためて気づきますね。さて5月です。でもね。焦ることはありません！はるか遠い目標のように思っていた場所へも、きょう一日少し前進すれば、その分だけは必ず近づいていきます。目の前の一日をしっかりと充実させることを考えましょう。その積み重ねが受験で勝負できる力をつけてくれます。

大学・学部はしっかり研究 慎重に選ぶ

進路希望調査を提出してもらいました。まだ迷っている人もいることと思います。大学で何を学び何を身に着きたいのかという原点に常に戻ることは大切です。興味のある大学、分野をじっくり考え、慎重に志望校を決定してください。大学のHPから各学部の研究室や研究者の研究内容まで入ることができるようになっていれば、比較研究してみることも大切です。

さらに入試方式についても調べましょう。22年度の入試要項は夏ごろから発表されるので、まずは21年度の入試方式をチェックしておきます。自分に合った入試方式の研究は必須です。わからないことがあったら、担任の先生や進路室に相談してください。以下、大学入試制度について確認しておきましょう。

大学入試制度について

大学入試には一般入試と特別選抜入試があります。それぞれの特徴を知り、志望校にはどんな入試制度があるのかを調べておきましょう。

一般選抜

一般入試は「大学入学共通テスト（共通テスト）」と「個別学力検査（個別試験）」で構成される学力試験です。

国公立大学では一次試験として共通テスト、二次試験として各大学で実施する個別試験を課し、これらを総合して合否判定を行います。国公立大の一次試験は文系が5教科8科目（英語、国語、数学2科目、地歴・公民から2科目、理科の基礎科目2科目）、理系が5教科7科目（英語、国語、数学2管区、地歴・公民から1科目、理科の基礎なし科目2科目）を課される入試が多いですが、大学や学部により異なり、3教科入試や、5教科入試の大学もあります。二次試験である個別試験は各大学で異なり、また前期、中期、後期によっても課される内容は様々です。

私立大学では①個別試験のみで選抜 ②共通テ

ストのみで選抜 ③個別試験と共通テストの両方で選抜の3通りの方法があります。私立大の一般入試で最も募集人員が多いのは①の個別試験のみで合否を判定する方式です。大学によってさまざまな方式がありますので、気になる大学の入試方式をしっかりと調べておくことは必須です。②③は「共通テスト利用方式」と呼ばれます。

また、大学の所在地以外の都市で実施される「地方入試」、1回の試験で複数の学部に出願できる「全学部統一入試」、同一大学、学部・学科の試験日程を複数受ける「試験日自由選択制」といった制度を導入している大学もあります。入試日程や配点など様々な要素を考えながら、受験計画を立てていきます。

特別選抜

特別選抜入試には「学校推薦型選抜」と「総合型選抜」があります。

学校推薦型選抜とは、出身校の校長の推薦により、主に調査書や面接、小論文などで合否を判定する入試制度です。大学が指定した高校から出願できる「指定校制推薦」と、出願条件を満たせば誰でも出願できる「公募制推薦」の大きく二つに分けられます。近年は学力の要素の適正な把握が求められるようになり、面接、小論文などを実施する大学が多く、国公立大学では共通テストを課す場合もあります。また、スポーツ推薦、自己推薦、高度な資格技能による推薦など学力以外の面を重視する「特別推薦」もあります。

総合型選抜とは、大学が求める人物像（アドミッション・ポリシー）と受験生を照らし合わせて合否を判定する入試制度です。総合型選抜は書類選考・面接・小論文・ゼミ・課題提出・研究発表など大学ごとにさまざまな方法で実施され、学力以外の意欲や将来性なども重視されます。学校推薦型選抜よりも出願時期が早い場合もあり、早めの準備が必要です。

大学入試の種類は様々です。どの入試を利用してチャレンジするかをしっかりと見極めて準備を進める必要があります。

“The moment you doubt whether you can fly, you cease for ever to be able to do it.” -J.M. Barrie-

「飛べないのではないかと疑ったその瞬間、永遠にそれは実現できなくなる」

—J.M. Barrie 1860 スコットランドで生まれる。『ピーター・パン』の作者—